



平成 21 年 11 月 27 日

文部科学省大学院教育改革支援プログラム

「ユニット教育による国際臨床研究の人材育成・研究成果発表会」

＜概要＞大学院医歯薬学総合研究科では、平成 19 年度より、文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択され、国際保健推進事業に携わる人材養成のための教育・研究基盤作り、及びその人材育成に取り組んできました。それらプログラムの中で、若手研究者を中心とし、各専門分野が協力した「ユニット型教育・研究」システム基盤を構築し、3 年間で合計 28 のユニットを形成し、様々な専門分野が融合し研究に取り組んでまいりました。その活動を、報告します。

＜本 文＞

新型インフルエンザをはじめとする新興・再興感染症など、現在アジアで深刻な医療問題に対する取り組みにおいて、課題探求及び課題解決、両面の能力を併せ持つ研究指向型人材育成が、現在日本の医学教育においては必要とされています。

そこで岡山大学では、国際保健推進事業に携わる人材養成のための教育・研究基盤を構築し、その人材育成に取り組んできました。

具体的には、平成 20 年度に国際医療保健コース（修士課程 2 年間）、国際臨床研究コース（博士課程、4 年間）を開設。また、実習（研究・フィールドワーク）では若手研究者（助教・講師）をリーダーとし、専門分野が異なる大学院生が「ユニット」を組み、それぞれの専門性を基盤にしたテーマを与えて、必要な知識と技術を身につける「ユニット型教育・研究」システムを構築いたしました。その結果、3 年間で合計 28 のユニットが形成され、様々な研究・フィールドワーク活動を展開いたしました。その最終成果を報告いたします。

日時：平成 21 年 12 月 15 日（火）15:00 ～ 18:00

場所：基礎研究棟 1F 大学院セミナー室

＜お問い合わせ＞

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科

疫学・衛生学分野 助教 鹿 嶋 小緒里

（電話番号）（086）235-7174

（FAX番号）（086）235-7178